

第2次

八千代市水道事業経営戦略

実施計画

令和7年度取組状況

令和8年9月

八千代市上下水道局

目 次

第1 業務量・財政収支

- 1 業務量の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 財政収支の計画と実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

第2 実施計画 取組概要

- 1 取組項目の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

第3 実施計画 個別取組み状況

- 取組み状況の見方・・・・・・・・・・・・・・・・・・4
- 1 基本方針1 水道事業の運営基盤の向上
 - ①水道施設の計画的・効率的な管理・・・・・・・・・・5
 - ②定員管理の適正化・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
 - ③民間資金・ノウハウの活用 of 検討・・・・・・・・・・7
 - ④広域化の検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
 - ⑤適正な資金管理・・・・・・・・・・・・・・・・・・8
 - ⑥水道料金の見直し・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
 - ⑦水道事業の広報・・・・・・・・・・・・・・・・・・10
- 2 基本方針2 安心・快適な給水の確保
 - ①水質管理体制の充実・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
 - ②貯水槽の衛生管理指導・・・・・・・・・・・・・・・・・・13
- 3 基本方針3 災害対策の強化
 - ①八千代市水道施設再構築基本計画の実施
(浄・給水場の耐震化・老朽化対策等)・・・・・・・・・・14
 - ②水道管路の耐震化・老朽化対策・・・・・・・・・・17
 - ③漏水対策の推進・・・・・・・・・・・・・・・・・・18
 - ④応急給水用資機材の整備・・・・・・・・・・・・・・・・19
 - ⑤復旧体制の強化・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
 - ⑥井戸水の確保・・・・・・・・・・・・・・・・・・22

第1 業務量・財政収支

1 業務量の計画と実績

	計 画(a)	実 績(b)	増 減(b-a)
行政区域人口(A)	209,705人	208,632 人	△1,073 人
給水人口(B)	207,920人	206,937 人	△983 人
普及率(B/A)	99.1%	99.2%	0.1%
年間総有収水量	18,451,286 m ³	18,820,570 m ³	369,284 m ³

2 財政収支の計画と実績

①収益的収支

(単位:千円 消費税抜き)

	計 画(a)	実 績(b)	増 減(b-a)
収入(A)	4,146,083	4,403,023	256,939
うち水道料金	3,252,258	3,101,045	△151,213
支出(B)	3,900,774	3,813,570	△87,205
純利益(A-B)	245,309	589,453	344,144

②資本的収支

(単位:千円 消費税込み)

	計 画(a)	実 績(b)	増 減(b-a)
収入(A)	1,394,851	886,095	△508,756
うち企業債	1,227,800	755,800	△472,000
支出(B)	3,164,226	2,378,874	△785,352
うち建設改良費	2,328,446	1,543,550	△784,896
資本的収支不足額(A-B)	△1,769,375	△1,492,779	

③企業債残高

(単位:千円)

	計 画(a)	実 績(b)	増 減(b-a)
年度末企業債残高	15,030,933	14,559,389	△471,544

④資金残高

(単位:千円)

	計 画(a)	実 績(b)	増 減(b-a)
年度末保有資金残高	1,777,426	2,297,226	519,800

※「第2次八千代市水道事業経営戦略 実施計画 令和7年度版」の計画との比較となります。

第2 実施計画 取組概要

1 取組項目の実施状況

令和7年3月に策定した「第2次八千代市水道事業経営戦略 実施計画 令和7年度版」の令和7年度の取組項目に掲げていた全29項目の計画のうち、25項目を計画どおり実施し、3項目を計画どおりではありませんが実施し、1項目は実施できませんでした。

実施状況について

A：計画どおり実施した B：計画どおりではないが実施した C：実施できなかった

—：令和7年度における計画がない

(1) 取組項目一覧表

◆基本方針1 水道事業の運営基盤の向上

取組・施策名，取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①水道施設の計画的・効率的な管理			
長期的な視点からの施設管理	—	B	5
浄・給水場の設備管理台帳の更新	—	A	5
管路の計画的な更新	—	B	6
ガイドラインに基づく点検の実施	—	A	6
②定員管理の適正化			
定員管理計画の推進	—	A	7
③民間資金・ノウハウの活用を検討			
先進事例の調査・研究	—	A	7
④広域化を検討			
国・県の方針や先進事例の調査・研究	—	A	8
⑤適正な資金管理			
企業債の借入の抑制	有	A	8
期中における資金管理の徹底	—	A	9
⑥水道料金の見直し			
水需要・料金収入・財務状況の確認・分析	—	A	9
水道料金の改定	—	A	10
⑦水道事業の広報			
やちよ上下水道だよりの発行	有	A	10
水の飲み比べの実施	有	A	11

◆基本方針2 安心・快適な給水の確保

取組・施策名，取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①水質管理体制の充実			
水質検査計画に基づく水質検査	—	A	12
水安全計画の運用	—	A	12
②貯水槽の衛生管理指導			
パンフレット配布	—	A	13

◆基本方針3 災害対策の強化

取組・施策名，取組項目	目標値の有無	実施状況	頁
①八千代市水道施設再構築基本計画の実施（浄・給水場の耐震化・老朽化対策等）			
八千代台浄水場施設改良工事	—	A	14
萱田浄水場改良工事	—	A	14
睦浄水場施設改良工事	—	A	15
高津浄水場施設改良工事	—	—	15
萱田浄水場拡張工事	—	—	16
再構築計画に伴う導・配水管の布設・改良	—	C	16
北千葉広域水道企業団からの受水管布設	—	—	17
②水道管路の耐震化・老朽化対策			
非耐震管の入れ替え	有	B	17
③漏水対策の推進			
漏水調査の実施	有	A	18
④応急給水用資機材の整備			
給水タンクの整備	有	A	19
非常用給水袋の保管・補充	有	A	19
給水タンク車の整備	有	A	20
⑤復旧体制の強化			
災害時を想定した訓練の実施	—	A	20
関係機関・事業者との連携強化	—	A	21
災害マニュアルの見直し・修正	—	A	21
仕切弁の設置	—	—	21
⑥井戸水の確保			
井戸施設の点検・管理	—	A	22

第3 実施計画 個別取組み状況

取組み状況の見方

年度別実施計画

実施計画（令和7年度版）に記載している令和7年度からの実施計画を記載しています。

実施状況

- A：計画どおり実施した
- B：計画どおりではないが実施した
- C：実施できなかった
- －：令和7年度における計画がない

(例)

取組項目	非耐震管の入れ替え				
取組目的・内容	耐震性のない水道管を地震に強い耐震管へ入れ替えることにより、地震などの災害時において、安定的な給水を維持することができます。非耐震管を耐震管へ入れ替える工事を進めます。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	更新工事	更新工事	更新工事	更新工事	更新工事
実施状況	B				
R7 年度実施内容	重要給水施設管路及び老朽管の改良工事（延長 3,166.9m）を実施し、耐震化率は 64%となりました。				
R7 年度目標設定	既設管路の更新延長	目標値		実績値	
		4.4km		3.2km	
	管路の耐震化率	63.9%		64%	
B評価の理由	耐震化率は目標値を達成しましたが、発注の遅れにより更新延長が達成できませんでした。 このため、実施状況をB評価としました。				

目標設定

実施計画において数値目標を設定しているものについては、「目標設定」、「目標値」、「実績値」を記載しています。

B・C評価の理由

実施状況がA評価とならなかった取組みについて、理由を記載しています。

1 基本方針 1 水道事業の運営基盤の向上

①水道施設の計画的・効率的な管理

取組項目	長期的な視点からの施設管理				
取組目的・内容	浄・給水場の統廃合を含めた更新計画である「八千代市水道施設再構築基本計画」に基づき、更新を進めます。また、水需要や施設状況を再調査し、必要に応じて計画の見直しを行います。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	水道施設再構築基本計画の推進・見直し	水道施設再構築基本計画の推進	水道施設再構築基本計画の推進	水道施設再構築基本計画の推進	水道施設再構築基本計画の推進
実施状況	B				
R7 年度実施内容	八千代市水道施設再構築基本計画等改定業務委託により計画の見直しを進めました。				
R7 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	
B評価の理由	管径の再検討等を行う必要が生じ、令和8年度に実施する管網解析業務の結果を基に、計画の見直しを図ることとなりました。 このため、実施状況をB評価としました。				

取組項目	浄・給水場の設備管理台帳の更新				
取組目的・内容	機械設備の管理台帳システムの更新やデータの管理を行い、資産管理水準の向上を図ります。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	台帳システム の更新・データ 管理	台帳システム の更新・データ 管理	台帳システム の更新・データ 管理	台帳システム の更新・データ 管理	台帳システム の更新・データ 管理
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	浄・給水場の設備管理台帳システムに入力するデータ収集を行い、台帳内容の充実を図りました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	管路の計画的な更新				
取組目的・内容	管路の耐震化工事については、「八千代市水道管路施設耐震化計画」に基づいて進めます。また、現在の状況を精査し、計画の見直しを行います。経費削減のため、管種及び施工方法について検討しています。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	水道管路施設耐震化計画の推進・見直し	計画的な耐震化工事の実施	計画的な耐震化工事の実施	計画的な耐震化工事の実施	計画的な耐震化工事の実施
実施状況	B				
R7 年度実施内容	八千代市水道施設再構築基本計画等改定業務委託の中で水道管路施設耐震化計画の見直しを進めました。また、重要給水施設管路及び老朽管の改良工事を実施しました。				
R7 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	
B評価の理由	管径の再検討等を行う必要が生じ、令和8年度に実施する管網解析業務の結果を基に、計画の見直しを図ることとなりました。 このため、実施状況をB評価としました。				

取組項目	ガイドラインに基づく点検の実施				
取組目的・内容	「水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関するガイドライン」に基づく点検を実施し、老朽化などの状況を確認します。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	点検の実施	点検の実施	点検の実施	点検の実施	点検の実施
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	「水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関するガイドライン」に基づき各施設の点検を行いました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②定員管理の適正化

取組項目	定員管理計画の推進				
取組目的・内容	事業の推進に必要なかつ適正な人員配置を図るため、令和 4 年度に策定した定員管理計画を基に、職員課に要望していきます。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	推進	推進	推進	推進	推進
実施状況	A				
R7 年度実施内容	令和 5 年度から令和 11 年度までの定員管理計画を令和 4 年度に策定し、定員管理計画に基づき、必要なかつ適正な人員配置について職員課と調整しました。				
R7 年度目標設定	—		目標値	実績値	
—			—		

③民間資金・ノウハウの活用の検討

取組項目	先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	民間委託などの手法の活用が可能である事務事業については、導入を検討し、事務の効率化や事業費の縮減を図り、安定的なサービスを継続するため、先進事例などの調査・研究を行います。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	他事業体における包括委託の実施状況など、官民連携導入事例の情報収集を行いました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

④広域化の検討

取組項目	国・県の方針や先進事例の調査・研究				
取組目的・内容	県内水道事業体の運営基盤の更なる強化を図ることを目的に、県において令和４年度に千葉県水道広域化推進プランが策定されました。 なお、本市が受水している用水供給事業者である北千葉広域水道企業団や近隣水道事業体との事業統合等による広域化については、具体的な検討には至っていませんが、他事業体の広域化事例を注視しつつ、千葉県水道広域化推進プランに沿って、広域化の調査・研究を行っていきます。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究	調査・研究
実施状況	A				
R7 年度実施内容	令和５年度に設置された「北千葉ブロックにおける広域連携に係る検討会」において、令和７年度は県内水道の現状と北千葉ブロックの現状のほか、リーディングケースについての説明を受けました。				
R7 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑤適正な資金管理

取組項目	企業債の借入の抑制				
取組目的・内容	年々増加する企業債残高を圧縮するために、適正な内部留保資金残高を確保したうえで、企業債の借入を抑制する必要があります。				
	今後、睦浄水場施設改良工事、高津浄水場施設改良工事、萱田浄水場拡張工事、管路耐震化事業等に多額の事業費を要します。事業費の抑制に最大限取り組み、それでも資金が不足する場合は料金改定等による財源の確保を行いながら、設備投資や災害などの不測の事態に備えるため適正な内部留保資金を確保できるよう、企業債の借入を行います。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	充当率の上限 設定	充当率の上限 設定	充当率の上限 設定	充当率の上限 設定	充当率の上限 設定
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	令和7年度における企業債の充当率を50.20%(借入額：382,400千円・令和8年度の借入予定額を含む)としました。				
R7 年度 目標設定	企業債充当率（上限）		目標値	実績値	
			57%	50.2%	

取組項目	期中における資金管理の徹底				
取組目的・内容	期中の資金管理については、上下水道局内の情報共有などにより、事業の執行状況を把握することで、資金管理を徹底し、定期預貯金及び有価証券による利息の獲得と、企業債の借入に係る償還年数及び金利方式の検討等を行いながら、支払利息の低減を図ります。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・定期預貯金の利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金及び有価証券利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金及び有価証券利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金及び有価証券利息の獲得 ・企業債利息の低減	・定期預貯金及び有価証券利息の獲得 ・企業債利息の低減
実施状況	A				
R7 年度実施内容	定期預金については、事業担当課との情報共有により資金の動きを詳細に分析した上で、可能な限り長期の預入を行いました。預入先の選定は、複数の金融機関から利率の見積を徴収し、経営の安全性が確認された中で最も高い利率を提示した金融機関とすることを原則とし、一部の金融機関に預入が集中することを避け、リスク分散を考慮した預入を行いました。 企業債利息については、金利が上昇する傾向であることを考慮し、適時借入を行うことで、利息の低減を図りました。				
R7 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑥水道料金の見直し

取組項目	水需要・料金収入・財務状況の確認・分析				
取組目的・内容	水道料金の収入状況や財務状況の確認・分析により，改定の要否や改定内容について検討を行います。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析	確認・分析
実施状況	A				
R7 年度実施内容	メータ検針等に基づく調定水量及び水道料金について，業態別の分析を行うとともに，前年度の決算状況により収支見通しの確認及び改定の要否の検討を行いました。				
R7 年度目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	水道料金の改定				
取組目的・内容	令和元年 10 月に平均改定率 8.57%の料金の見直し（改定）を行いました たが、今後も、水道施設再構築や管路の耐震化等を計画的に行っていくた め、多額の事業費を要します。投資の合理化・効率化や経費の節減などを 進めていきますが、それでもなお投資・財政計画において資金不足が生じ る場合は、水道事業の根幹をなす水道料金の改定を実施する必要があります。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	改定の可否の 検討	改定の可否の 検討	改定の可否の 検討	改定の可否の 検討	改定の可否の 検討
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	令和 7 年度末に策定した第 3 次八千代市水道事業経営戦略において、料 金改定を想定した収支見通しの推計を行いました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

⑦水道事業の広報

取組項目	やちよ上下水道だよりの発行				
取組目的・内容	水道は市民にとって最も身近なライフラインの一つであるため、各種計画の策定・実施状況、料金に関することなどの重要事項の周知を図るとともに、安心して水道水をご利用いただけるよう、水道水の安全性やおいしさについて、「やちよ上下水道だより」により広報を行います。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	発行	発行	発行	発行	発行
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	令和7年7月15日と令和8年3月15日に「やちよ上下水道だより」を発行し、安全な水道水、水質検査計画、睦浄水場受水池の耐震補強工事などについてお知らせしました。				
R7 年度 目標設定	発行回数		目標値	実績値	
			年2回	年2回	

取組項目	水の飲み比べの実施				
取組目的・内容	毎年実施している八千代市総合防災訓練において、水道水と市販のペットボトル水の飲み比べを実施し、水道水のおいしさをPRします。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	実施	実施	実施	実施	実施
実施状況	A				
R7 年度実施内容	令和 7 年 11 月 16 日に行われた八千代市総合防災訓練において、水道水と市販のペットボトル水の飲み比べアンケートを実施し、八千代市の水道水のおいしさをPRしました。				
R7 年度目標設定	実施回数		目標値	実績値	
			年 1 回	年 1 回	

2 基本方針 2 安心・快適な給水の確保

①水質管理体制の充実

取組項目	水質検査計画に基づく水質検査				
取組目的・内容	水道法 20 条で定められている定期水質検査を行い、必要があれば臨時の水質検査も行います。検査地点は水源、浄水場着水井、浄・給水場の出口及び水道法に基づく検査地点である末端給水栓とし、検査結果を公表することにより水質検査の透明性を確保します。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	実施・公表	実施・公表	実施・公表	実施・公表	実施・公表
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	令和 6 年度末に策定し公表した水質検査計画に沿って、法令等で義務付けられた定期検査を実施することにより、水の安全性及び清浄な水の供給を確認し、水道利用者へ検査結果の情報提供をしました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	水安全計画の運用				
取組目的・内容	平成 25 年度に策定した「八千代市水道事業水安全計画」を運用し、毎年度評価を実施し、水源から蛇口までにおけるリスクの管理を進め、安全な水道水を供給します。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	評価・見直し	評価・見直し	評価・見直し	評価・見直し	評価・見直し
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	前年度に開催したレビュー（評価・見直し）を反映した水安全計画の改訂を行いました。 また、上下水道局職員から成る水安全計画推進委員を推進役とし、計画に沿って実行した内容について、年度末にレビュー会議を開催し、実施状況の検証や情報共有をしました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②貯水槽の衛生管理指導

取組項目	パンフレット配布				
取組目的・内容	小規模貯水槽（10 m ³ 以下）を設置している建物の設置者・管理者に対し、適正な維持管理を促すため、適正管理用のパンフレットの配布及び周知を行います。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	配布・周知	配布・周知	配布・周知	配布・周知	配布・周知
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	小規模貯水槽の設置者・管理者に対し、パンフレットの配布を行いました。また、市民や工事事業者にも周知するため、パンフレットを上下水道局窓口にとともに、市ホームページにも掲載しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

3 基本方針 3 災害対策の強化

①八千代市水道施設再構築基本計画の実施（浄・給水場の耐震化・老朽化対策等）

取組項目	八千代台浄水場施設改良工事				
取組目的・内容	令和５年度から八千代台浄水場施設改良工事を実施しており,令和７年度は門扉改良や場内舗装等の場内整備,場内配管への不断水弁の設置を行います。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	改良工事 ・場内整備等の 施設整備				
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	場内整備及び場内配管の改造は令和７年12月に完了しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	萱田浄水場改良工事				
取組目的・内容	令和 7 年度は萱田浄水場シーケンサ更新工事，太陽光発電設備改良工事を実施します。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・シーケンサ更新工事 ・太陽光発電設備改良工事				
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	シーケンサ更新工事は令和 7 年 8 月に完了し，太陽光発電設備改良工事は令和 8 年 2 月に完了しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	睦浄水場施設改良工事				
取組目的・内容	令和7・8年度に施設の耐震化のため、睦浄水場1号受水池耐震補強工事を、令和10年度に睦浄水場施設改良工事を実施するため、令和8年度に実施設計を行います。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	1号受水地耐震補強工事	・1号受水地耐震補強工事 ・実施設計		改良工事 ・送水ポンプの追加 ・機械・電気設備の更新	
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	1号受水池耐震補強工事を実施しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	高津浄水場施設改良工事				
取組目的・内容	八千代市水道施設再構築基本計画を見直す中、高津浄水場施設改良工事の実施内容を検討したうえで、令和９年度に実施設計を行います。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
			実施設計		
実施状況	—				
R7 年度 実施内容	令和７年度実施計画なし				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	萱田浄水場拡張工事				
取組目的・内容	令和 11 年度に萱田浄水場拡張工事を実施するため、令和 8 年度に基本設計を行い、令和 9 年度に実施設計を行います。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
		基本設計	実施設計		拡張工事 ・ 浄水場施設築造工事 ・ 電気計装設備工事 ・ 既施設撤去工事
実施状況	—				
R7 年度 実施内容	令和 7 年度実施計画なし				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	

取組項目	再構築計画に伴う導・配水管の布設・改良				
取組目的・内容	浄・給水場の統廃合に伴う導・配水管の布設・改良を行います。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・実施設計 ・工事の実施	・実施設計 ・工事の実施	・実施設計 ・工事の実施	・実施設計 ・工事の実施	・実施設計 ・工事の実施
実施状況	C				
R7 年度 実施内容	設計・工事を見送りました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	
C評価の理由	令和８年度に行う管網解析業務の結果を基に、計画の見直しを図ることとなったため、設計・工事を見送りました。 このため、実施状況をC評価としました。				

取組項目	北千葉広域水道企業団からの受水管布設				
取組目的・内容	睦浄水場に続き, 萱田浄水場に北千葉広域水道企業団からの受水地点を新たに設けることで不測の事態に備えていきます。また, 北千葉広域水道企業団からの受水管を布設します。基本設計は上下水道局で行いますが, 実施設計からは北千葉広域水道企業団が行い, これに係る負担金を支払います。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
					実施設計 (負担金の支払い)
実施状況	—				
R7 年度 実施内容	令和 7 年度実施計画なし				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

②水道管路の耐震化・老朽化対策

取組項目	非耐震管の入れ替え				
取組目的・内容	耐震性のない水道管を地震に強い耐震管へ入れ替えることにより、地震などの災害時において、安定的な給水を維持することができます。非耐震管を耐震管へ入れ替える工事を進めます。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	更新工事	更新工事	更新工事	更新工事	更新工事
実施状況	B				
R7 年度 実施内容	重要給水施設管路及び老朽管の改良工事（延長 3,166.9m）を実施し、耐震化率は 64%となりました。				
R7 年度 目標設定	既設管路の更新延長		目標値	実績値	
			4.4km	3.2km	
	管路の耐震化率		63.9%	64%	
B評価の理由	耐震化率は目標値を達成しましたが、発注の遅れにより更新延長の目標値を達成できませんでした。 このため、実施状況をB評価としました。				

③漏水対策の推進

取組項目	漏水調査の実施				
取組目的・内容	計画的に漏水調査を行い，早期に修繕することで無効水量（漏水などにより損失した水量）の軽減を図ります。また，早期に発見し修繕することにより，道路陥没などの２次災害を防止します。給水区域を細分化して年度ごとに各ブロックの漏水調査を実施します。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	調査の実施	調査の実施	調査の実施	調査の実施	調査の実施
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	調査地区 9,343 件の漏水調査を音聴棒にて実施しました。 また，京成電鉄軌道横断部及び国道 16 号横断部では，音聴棒より精度の高い漏水探査機器で調査を行いました。 公道上での漏水 2 件，宅地内での漏水 9 件発見し，速やかに修繕を行いました。				
R7 年度 目標設定	調査区域	目標値	実績値		
		桑納・麦丸・真木野・ 神久保・桑橋・島田・ 島田台・大学町・村 上南・村上・上高野・ 米本・神野・保品	桑納・麦丸・真木野・ 神久保・桑橋・島田・ 島田台・大学町・村 上南・村上・上高野・ 米本・神野・保品		
	調査予定件数	8,000 件	9,343 件		

④応急給水用資機材の整備

取組項目	給水タンクの整備				
取組目的・内容	災害時の応急給水活動に備えるために、令和6年度末時点で、給水タンクを20基、組立式給水タンクを19基整備・保有しています。令和7年度以降においても、計画に沿って組立式給水タンク(1 m ³)の購入を行います。				
年度別 実施計画	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
	4基購入	5基購入			
実施状況	A				
R7年度 実施内容	組立式給水タンク(1 m ³)を4基購入しました。				
R7年度 目標設定	保有数	目標値		実績値	
		・給水タンク (2 m ³) 17基 (1 m ³) 3基 ・組立式給水タンク (1 m ³) 23基		・給水タンク (2 m ³) 17基 (1 m ³) 3基 ・組立式給水タンク (1 m ³) 23基	

取組項目	非常用給水袋の保管・補充				
取組目的・内容	非常用給水袋（6L）を 23,000 袋備蓄します。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充	備蓄・補充
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	備蓄枚数, 耐用年数について調査を実施しました。令和 7 年度末時点で 24,800 枚を備蓄しています。				
R7 年度 目標設定	給水袋保管数	目標値		実績値	
		23,000 枚		24,800 枚	

取組項目	給水タンク車の整備				
取組目的・内容	給水タンク車について、2 台を整備・保有します。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	保有	保有	保有	保有	保有
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	給水タンク車 2 台を保有しています。				
R7 年度 目標設定	給水タンク車の保有数	目標値		実績値	
		2 台		2 台	

⑤復旧体制の強化

取組項目	災害時を想定した訓練の実施				
取組目的・内容	大地震などによる被災を想定した応急給水訓練や復旧訓練を継続的に 行います。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・上下水道局防災 訓練の実施 ・八千代市災害対 応訓練の実施	・上下水道局防災 訓練の実施 ・八千代市災害対 応訓練の実施	・上下水道局防災 訓練の実施 ・八千代市災害対 応訓練の実施	・上下水道局防災 訓練の実施 ・八千代市災害対 応訓練の実施	・上下水道局防災 訓練の実施 ・八千代市災害対 応訓練の実施
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	上下水道局防災訓練を令和7年7月に実施し、また、八千代市災害対応 訓練を令和8年1月に実施しました。地震発生による市内各所の停電、断 水を想定した応急給水及び応急復旧訓練を実施しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	関係機関・事業者との連携強化				
取組目的・内容	他の水道事業体や水道工事事業者と共同での訓練実施などにより, 連携の強化を図ります。				
年 度 別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・災害応援協定の 確認・見直し ・共同での訓練の 実施	・災害応援協定の 確認・見直し ・共同での訓練の 実施	・災害応援協定の 確認・見直し ・共同での訓練の 実施	・災害応援協定の 確認・見直し ・共同での訓練の 実施	・災害応援協定の 確認・見直し ・共同での訓練の 実施
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	令和7年4月に千葉県主催により「千葉県内水道災害時対処要領」に基づいた情報伝達訓練を実施しました。 また, 令和8年1月に実施した上下水道局防災訓練において, 関係事業者と共同での訓練を実施しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	災害マニュアルの見直し・修正				
取組目的・内容	災害マニュアルなどを適宜見直し、修正を行っていきます。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正	見直し・修正
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	災害マニュアルについて、災害時の配備態勢等の見直しを行いました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

取組項目	仕切弁の設置				
取組目的・内容	災害時に送水管が破損した場合への対策として, 不断水工法により仕切弁を設置し, 給水能力の向上を図ります。				
年度別実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
実施状況	—				
R7 年度実施内容	令和 7 年度実施計画なし				
R7 年度目標設定	—	目標値		実績値	
		—		—	

⑥井戸水の確保

取組項目	井戸施設の点検・管理				
取組目的・内容	災害時などにおいても安全で安心できる水道水を供給するために、定期的な井戸施設の点検・整備を行うなど、自己水源である井戸水の保全を図ります。				
年度別 実施計画	R7 年度	R8 年度	R9 年度	R10 年度	R11 年度
	・日常点検 ・不具合箇所の修繕 ・水質検査の実施	・日常点検 ・不具合箇所の修繕 ・水質検査の実施	・日常点検 ・不具合箇所の修繕 ・水質検査の実施	・日常点検 ・不具合箇所の修繕 ・水質検査の実施	・日常点検 ・不具合箇所の修繕 ・水質検査の実施
実施状況	A				
R7 年度 実施内容	井戸施設の点検及び不具合箇所の修繕を行いました。また、井戸水の水質検査については予定通り実施し、水源として良質な水質であることを確認しました。				
R7 年度 目標設定	—		目標値	実績値	
			—	—	

**第 2 次
八千代市水道事業経営戦略
実施計画
令和 7 年度取組状況**

発 行 八千代市上下水道局
編 集 八千代市上下水道局 経営企画課
所在地 八千代市大和田新田 3 1 2 - 5
電 話 0 4 7 - 4 8 3 - 6 5 7 2 (直通)